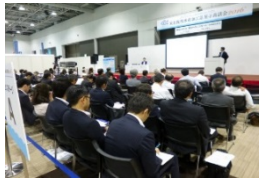
販路回復・開拓のための取組

○　販路回復等に向け、平成27年度より新商品開発等に必要な加工機器の整備や加工原料の確保等を支援（①）。
○　水産物の国内消費が減少傾向にあること等も踏まえ、輸出を視野に入れた取組を支援（②）。
○　販路の回復・開拓等に向け、複数事業者のチーム化による取組を支援（③）。

①復興水産加工業等販路回復促進事業（平成29年度、15億円）

販路回復に向けた個別指導、セミナー等の開催による支援

・　被災地の水産加工業の販路回復等のため、水産加工・流通の専門家による事業者の個別指導及びセミナー等の開催を支援。


＜セミナー＞

＜個別商談会＞

販路の回復・新規開拓等の取り組みに必要な加工機器の整備等を支援

・　個別指導を踏まえた取組に必要な加工機器整備費、放射能測定機器導入費、マーケティング経費等を支援。

＜新商品開発＞

＜加工機器の整備＞

②輸出拡大モデル事業（平成28年度実施、1.8億円）

事業例1：

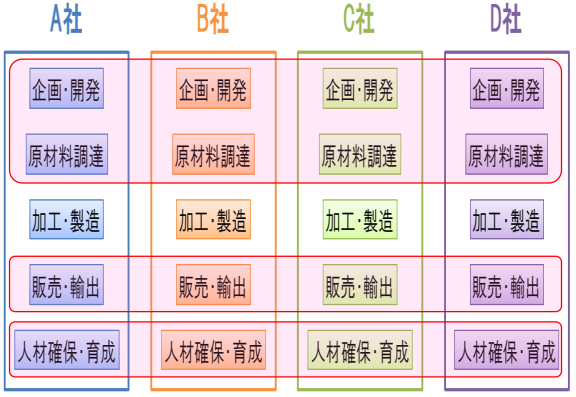
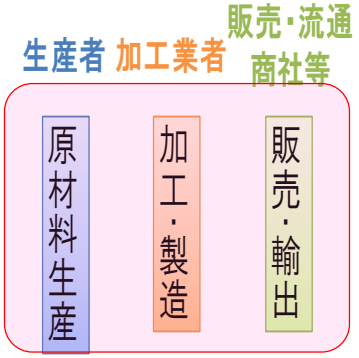
広域連携による輸出拡大（青森、岩手、宮城）

・　水産加工業者7社の連携による、東南アジア量販店における販路開拓活動を支援。
・　20t・2,500万円の試験輸出を実施。

事業例2：

若手リーダーの連携による輸出拡大（岩手、宮城）

・　若手漁師等が連携し、共通のコンセプトの下、生食用カキ、ワカメ等を輸出する体制の構築や、東南アジア等へ販路開拓活動を支援。
・　岩ガキ700個・冷凍ホタテ貝柱1tの輸出を実施。

③チーム化による水産加工業等再生モデル事業（平成29年度、1.4億円）

・　複数の水産加工業者等が連携して行う販売促進、輸出、人材育成等に取り組むチーム化モデルの構築等の取組を実施。